

2023年 7月20日

No. 6 4 0

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

福島県乳牛改良推進協会主催
「牛の見方研修会」を初開催
県内の学生が多数参加

福島県乳牛改良推進協会

5月16日(火)に、福島県乳牛改良推進協議会主催の「牛の見方研修会」が、福島県家畜市場（本宮市）で開催されました。初めて開催する研修会でしたが、県内の学生や酪農家、酪農関係者など約140名と多くの方に参加いただきました。

福島県の乳牛改良を進めるために、若手後継者や学生を対象として、まずは乳牛や酪農という職業に興味を持ってもらうきっかけと、酪農家と学生の交流の場を広げる目的で開催しました。

開催当日は、一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会 事業部長 國行 将敏 氏を講師に迎え、午前中は座学として、体の名称や骨格、体型審査、線形評価などについて、ホルスタインの見方を学びました。

午後には、福島県ホルスタイン改良同志会の協力のもと、未經産牛、経産牛合わせて6頭を教材牛としてご提供いただき、実際の乳牛を見ながら、体つきや姿勢、胸の幅、骨格などの評価ポイントを学びました。

参加した学生からは、「乳牛をまじかで初めて見ました!」や「学校に連れて帰りたい!」や「おっきいっ!」など、さまざまな声が聞かれました。県内では、乳牛を飼養している学校が少なく、今回の「牛の見方研修会」を通して、学生たちが乳牛について、学ぶ貴重な研修会となりました。

また、当協議会では、福島県内のレベルアップを図るために、9月に「毛刈り講習会」を開催予定しておりますので、ぜひ、皆さんご参加いただきますようお願いいたします。



牛の見方研修会



福島県乳牛改良推進協議会 会長 円谷勝幸氏 (左)
一般社団法人日本ホルスタイン登録協会 事業部長
國行将敏氏 (右)



教材牛を見ながら、学びました
(教材牛の提供：福島県ホルスタイン改良同志会)



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
福島県砂山町安積町曾川字平ノ上1-1
ZENOAQ www.zenoaq.com



～地域と共に育てるふくしま三大ブランド鶏～ 三大鶏フェアとコラボ商品について

ふくしま三大ブランド鶏推進協議会

2021年4月に設立した、ふくしま三大ブランド鶏推進協議会は「三大鶏（川俣シャモ、会津地鶏、伊達鶏）の更なるブランド向上」と「地域が潤い元気で活力ある地域を目指す」ことを目的としています。発足当初は、目の前の課題に追われてしまい、自分たちのことで精一杯。地域の事まで考えて活動をするのは難しいのが現実でしたが、3社が少しずつ協力することで、地域活性化も少しではありますが、取り組めるようになってきました。

その背景には、地域の皆様の協力や応援も大きい訳ですが、今年4月6日（金）～8日（日）に、福島市にあるコラッセふくしま1階にある福島県観光物産館の協力を得て、三大鶏フェアを行う事が出来ました。企画にあたっては、物産館の桜田館長さんへ相談したところ、本協議会の取り組みに共感を頂き、鶏を具材としたお弁当を10種類ほど作り販売されたほか、数々の助言も頂きました。

また、今回の三大鶏フェアの目玉は、福島県産米を使った米粉麺の「う米麺（うまいめん）」とのコラボ商品です。米粉を使った麺といえば、鶏や牛などの出汁をベースにしたベトナムの代表的な料理「フォー」が有名ですが、流行っていると聞いていたので、早速「う米麺」を製造販売している、天栄村のアルファ電子さんへ連絡をして、メニュー開発のため、4社で集まり試食会を開きました。麺の太さや種類、三大鶏各社が提供する鶏だしや肉団子、塩白湯のたれなどをいろいろ試し



「う米麺（うまいめん）」とのコラボ商品

ていくと、とても美味しく仕上がったので、ギフトセットのほか、飲食ブースでも提供することができました。

福島学院大学さんと本協議会は、連携協定を結んでいることもあり、学生さんたちに店内で販促の声かけやアンケートなどを手伝ってもらいました。若い学生の頃から、地元の食材について身近に感じてもらう取り組みは、引き続き行っていきたいと考えています。

今年3月30日には、三大鶏の主な生産地である、三島町、川俣町、伊達市の3市町において、三大鶏の情報発信や販売促進などを目的とした、ふくしま三大鶏振興協議会が設立されており、今回の三大鶏フェアにおいても、3市町から参加いただき、地元の物産品も一緒に販売しました。



三大鶏フェアの様子

今後は、行政とも連携を行い、地域活性化にも積極的に取り組み、「福島県にきたから鶏を食べよう」「鶏を食べに福島へ行こう」などと言ってもらえるように、飲食店や宿泊業、観光業の皆様、教育関係者、商工会議所や商工会、メディアの方々ほか、地域の皆様と一緒に、ふくしま三大ブランド鶏も成長していきたいと夢見る本協議会メンバーの面々です。

コロナによる行動制限も解除されてきたことから、さらに新たな挑戦を行っていきたいと思いますので、皆様からのご協力・ご支援も、引き続き宜しくお願い致します。

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎（〇二四）六三二一四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎（〇二四）五五三一六六七八

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上二一
☎（〇二四）九四五一三〇六

株式会社アグロジャパン
南東北営業部（福島）
郡山市開成六丁目六七一
☎（〇二四）九五四一四一七一

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川三五一
☎（〇二四）五七七二二二二

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎（〇二四）六三二二四八八

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休業期間を
厳守しましょう』

福島県酪農業協同組合第30回通常総会開催

福島県酪農業協同組合

第30回通常総会が、6月21日（水）に郡山市日和田町の福島県農業総合センターにて開催されました。

今年度の総会はコロナ禍前の形態での開催とし組合員をはじめ、多くの来賓の方にご出席頂き盛大に終えることができました。

紺野組合長は、「一定のワクチン接種も進み、政府、行政等の行動制限解除により、感染症対策を実施しながら少しずつ経済活動が動き始めました。更に一足先に移動が緩和された海外からの観光客が増えており、観光地や飲食店などにもぎわいを取り戻しつつあり、これからの牛乳・乳製品の需要に期待したいところです。本県では一昨年から続く農業資材や燃料、粗飼料等の価格高騰を受けて年度早々に当組合として手取乳価の確保という事でkgあたり1円の支援助成の実施や増資の積立を中止するなど対策を図りました。また、県では急激な円安に伴う配合飼料価格安定制度負担金について6月補正予算において負担金の一部助成を打ち出して頂きました。しかし、円安に伴う輸入飼料等、燃料、光熱費の動向など、酪農を取り巻く環境は日を追うごとに悪化の一途をたどってきました。日々の酪農経営は暗雲の中、組合員が在籍する29市町村へ7月以降、酪農を取り巻く現況と経営の実態を説明し財政支援を要請してまいりました。多くの市町村においてご理解を賜り昨年1月以降に支援策を講じて頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

原発事故から12年が経過し避難指示解除区域の復興牧場事業は当時、営農されていた63戸の組合員の経営基盤の再興を目指し、2,000頭の乳牛と日量30トンの生乳出荷



紺野宏代表理事組合長のあいさつ



総会の様子

を目標に、築き上げた地域の酪農生産基盤を再び浜の地に取り戻したいとの思いを、復興牧場設立準備室の職員全員で共有しながら、今後は全酪連福島復興牧場事業特命担当、浪江町と連携を密にし、事業推進に努めてまいります。福島県酪農を明るくし、地域農業を守るため、必要とされる組合であり続けるよう事業展開してまいります。

組合員の皆様には事業運営へのご理解、ご支援お願い申し上げます。」と挨拶を申し上げました。

来賓挨拶では、福島県農林水産部長 沖野浩之様、福島県議会議員 渡辺義信様、全国酪農業協同組合連合会代表理事会長 隈部 洋様、東北生乳販売農業協同組合連合会代表理事会長 伊藤一成様より祝辞を頂きました。

正組合員188名、うち本人出席33名、代理出席3名、書面議決書119名で計155名の出席となりました。議長には県南地区の佐藤勝氏が選任され、全議案賛成多数で承認、通常総会を無事終了することができました。

通常総会の席において表彰されました購買事業系統利用上位組合員、セリ市場販売価格上位組合員、乳質改善優良組合員、特別表彰、職員永年勤続表彰を受賞された方々の常日頃の努力、活動に対し敬意を表します。おめでとうございます。

令和5年度公益社団法人福島県獣医師会通常総会開催

公益社団法人福島県獣医師会

令和5年6月5日（月）に令和5年度通常総会が郡山市ビッグパレットふくしまにおいて開催されました。

新型コロナが5類に移行したことで、4年ぶりに通常開催の運びとなりました。

総会において、下記の方々に表彰が行われました。

永年役員功労者 河又 淳（県北支部）

狂犬病予防注射事業功労者 安藤英明、松崎友純（いわき支部）

永年会員功労者 高橋 誠（県北支部）、本田城寿（県中支部）、仙波浩明、板垣 保、佐藤亮一（会津支部）

総会は議案については原案どおり承認され、また役員の任期満了に伴い、役員の改選が行われました。

新役員の体制は下記のとおりとなりましたので、引き続きご指導ご鞭撻をお願い致します。

会長理事 浦山良雄、副会長理事 石川弥恵子、常務理事 篠木 忠、理事 紺野廣重（県北）、高橋 誠（県北）、小野田功（郡山）、官野 修（県南）、三林芳郎（会津）、渡邊正道（相双）、根本文敬（いわき）、松本裕一（職域）、野口みき（職域）、堀籠 茂（職域）、野口泰幸（職域）、佐瀬千佳子（職域）、代表監事 菊崎友隆 監事 長谷川剛、鈴木真一（敬称略）

特定復興再生拠点での飼料作物栽培について

福島県農業総合センター畜産研究所

特定復興再生拠点区域は帰還困難区域の中に、居住再開等を目指して特別に認定された区域であり、今後、避難指示解除により、区域内の営農再開も進められますが、これまでに特定復興再生拠点区域で飼料作物を栽培した事例はなく、安全性に関する知見はありませんでした。

そこで、特定復興再生拠点区域内の除染した農地において、飼料用トウモロコシとオーチャードグラス（永年生牧草）を栽培する実証を行いました（写真）。

実証試験は、2021年から2022年にかけて双葉郡内の特定復興再生拠点区域で行い、実証地の空間線量は0.29 μ Sv/h（開始時）、土壌の放射性セシウム濃度は250Bq/kgでした。実証地は土壌中の交換性カリ含量が吸収抑制対策に必要な30～40mg/100g乾土を上回っていたことから、カリの増肥は行いませんでした。

実証の結果、放射性セシウム濃度（水分80%換算）は、飼料用トウモロコシが栽培1年目（R3）1.5Bq/kg、2年目（R4）1.3Bq/kg、オーチャードグラスが1番草1.9Bq/kg、再生草2.1Bq/kgとなり、飼料の暫定許容値である100Bq/kgを大幅に下回り、特定復興再生拠点区域内での飼料作物栽培に問題がないことが確認できました（表1）。

収量については、飼料用トウモロコシの現物収量が約5.2t/10a（栽培2年目）、オーチャードグラスの年間乾物

収量は約1.0t/10aとなり、目標とした収量（飼料用トウモロコシ：5.0t/10a（作物統計による全国平均単収）・6.5t/10a（県畜産指導指針）、オーチャードグラス：1.0～1.2t/10a（県畜産指導指針））とほぼ同等からやや下回りました（図1）。

なお、特定復興再生拠点区域内で飼料作物を栽培する際は、土壌分析を実施し、適切な肥培管理を行うとともに、栽培期間中の土壌中交換性カリ含量が30～40mg/100g乾土を維持するよう、カリ質肥料を施肥することが必要です。

また、給与に当たっては、県のモニタリングで利用自粛が解除された飼料を利用し、飼料中のカリウム濃度を把握した上で給与してください。

（本試験は「農林水産分野の先端技術展開事業のうち現地実証研究」により実施しました）



飼料用トウモロコシ（左）とオーチャードグラス（右）の栽培状況

表1 放射性セシウム濃度と土壌中交換性カリ含量

	生産年 ・ 番草	放射性セシウム濃度(Bq/kg)		移行係数 (TF)
		飼料作物中 (水分80%換算)	土壌中 (乾物)	
飼料用 トウモロコシ	R3	1.5	250	0.031
	R4	1.3	310	0.021
オーチャード グラス	1番草	1.9	220	0.042
	再生草	2.1	380	0.028

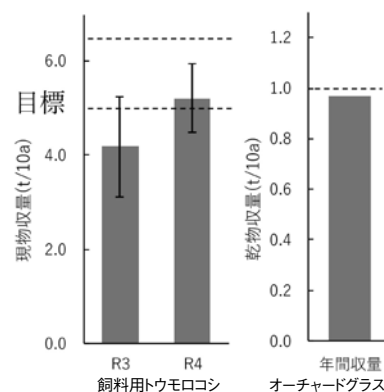


図1 飼料作物の収量

●品質と信頼の●



くみあい配合飼料



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本社

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和6年度 学生募集



募集人員及び修業年限

全体定員 60名 修業年限 2年

水田経営学科 15名程度 花き経営学科 10名程度
野菜経営学科 15名程度 畜産経営学科 10名程度
果樹経営学科 10名程度

推薦入校試験

試験日 令和5年11月2日(木)
試験科目 小論文、面接試験
出願期間 令和5年10月3日(火)
～10月17日(火)

一般入校試験(前期)

試験日 令和5年12月18日(月)
試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、
面接試験
出願期間 令和5年11月20日(月)
～12月8日(金)

一般入校試験(後期)

試験日 令和6年2月9日(金)
試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、
面接試験
出願期間 令和6年1月11日(木)
～1月31日(水)

※願書提出後に希望経営学科を変更できる期間を設定しています

【問い合わせ先】

福島県農業総合センター農業短期大学校 農業経営部 入試担当



〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1
TEL 0248-42-4113 FAX 0248-44-4553
E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

アグリカレッジ福島

検索

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度） 発動状況

(単位：円)

販売月		肉専用種 (東北ブロック福島県)	交雑種 (全国)	乳用種 (全国)
令和5年1月	確定単価	66,204.9	12,947.4	43,470.9
	概算払い単価	61,303.7	8,301.8	38,878.4
	精算払い単価	4,901.2	4,645.6	4,592.5
令和5年2月	確定単価	92,471.4	46,034.1	45,992.7
	概算払い単価	86,940.2	40,604.6	40,496.6
	精算払い単価	5,531.2	5,429.5	5,496.1
令和5年3月	確定単価	95,283.0	10,440.0	56,792.7
令和5年4月	暫定単価	12,961.8	0.0	46,469.7
	概算払い単価	5,961.8	0.0	39,469.7
	精算払い単価	7,000.0	0.0	7,000.0
令和5年5月	暫定単価	76,976.1	16,733.7	47,943.0
	概算払い単価	69,976.1	9,733.7	40,943.0
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	7,000.0

※生産者負担金の猶予対象牛（コロナ対策）については支払い交付単価の3/4の支払となります。

※令和4年7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしい
はちみつはいかが！

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました！！

カーボップEX ブラック



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

家畜取引状況報告

令和5年4～6月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格(円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
4	雌	371	988,900	113,300	579,392	294	1,973	287	167	204
	雄									
	去勢	441	1,142,900	261,800	702,573	317	2,213	281	216	225
	計	812	1,142,900	113,300	646,292	307	2,108	283	383	429
5	雌	338	952,600	199,100	526,789	301	1,750	292	155	183
	雄									
	去勢	452	1,018,600	192,500	656,734	326	2,016	286	186	266
	計	790	1,018,600	192,500	601,137	315	1,907	288	341	449
6	雌	372	887,700	126,500	513,759	298	1,724	289	178	194
	雄									
	去勢	449	1,087,900	22,000	651,092	329	1,980	283	190	259
	計	821	1,087,900	22,000	588,866	315	1,870	286	368	453

令和5年4～6月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格(円)		
			最高	最低	平均
4月 第330回	ホルフル雄	29	125,400	9,900	78,631
	ホルフル雌	59	190,300	44,000	134,200
	F ₁ 雄	78	231,000	44,000	163,110
	和牛雌	8	405,900	221,100	355,850
	和牛雄	16	512,600	333,300	448,181
	和牛去勢				
	計・平均	190	512,600	9,900	173,360
	ホルフル雄	35	160,600	1,100	117,920
5月 第331回	ホルフル雌	2	29,700	24,200	26,950
	F ₁ 雄	67	233,200	11,000	125,958
	F ₁ 雌	75	269,500	22,000	176,029
	和牛雌	8	442,200	199,100	359,700
	和牛雄	17	508,200	271,700	420,265
	和牛去勢				
	計・平均	204	508,200	1,100	175,709
	ホルフル雄	29	192,500	55,000	150,472
6月 第332回	ホルフル雌	1	51,700	51,700	51,700
	F ₁ 雄	50	195,800	117,700	164,450
	F ₁ 雌	65	255,200	132,000	200,082
	和牛雌	16	394,900	235,400	339,556
	和牛雄	29	482,900	254,100	409,693
	和牛去勢				
	計・平均	190	482,900	51,700	226,091

令和5年4～6月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格(円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
4	乳登	1	64,900	64,900	64,900		
	妊娠牛	1	454,300	454,300	454,300		
	E T 和雌	3	413,600	308,000	350,534	3,565	98
	E T 和雄	12	550,000	220,000	400,309	3,896	103
	乳雌牛	1	11,000	11,000	11,000	200	55
	乳雄牛	16	165,000	38,500	117,357	1,443	81
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	35	174,900	40,700	131,905	1,661	79
	F ₁ 雌(スモール)	40	223,300	114,400	162,993	1,978	82
	計・平均	109	550,000	11,000	177,978	2,165	82
	乳登	1	167,200	167,200	167,200		
	妊娠牛	2	404,800	389,400	397,100		
	E T 和雌	4	407,000	382,800	398,475	4,633	86
	E T 和雄	2	479,600	477,400	478,500	5,437	88
5	乳雌牛	16	138,600	1,100	97,625	1,305	75
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	38	181,500	17,600	138,252	1,933	72
	F ₁ 雌(スモール)	36	248,600	112,200	179,453	2,317	77
	計・平均	99	479,600	1,100	169,578	2,323	73
	乳登						
	妊娠牛	9	360,800	220,000	288,078		
	E T 和雌	6	426,800	316,800	379,134	3,970	96
	E T 和雄	7	553,300	402,600	468,757	4,399	107
	乳雌牛						
	乳雄牛	12	191,400	70,400	145,750	1,901	77
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
6	F ₁ 雌(スモール)	31	204,600	116,600	174,403	2,214	79
	F ₁ 雌(スモール)	32	277,200	99,000	203,809	2,457	83
	計・平均	97	553,300	70,400	225,013	2,976	76

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(8月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木
ニュートラック 福島	盛岡	大井	笠松			盛岡	船橋			浦和			盛岡	浦和	大井	笠松			土	(日)	水沢	園田	川崎				水沢	浦和	笠松		
オーブス磐梯	大井					船橋				浦和			浦和	大井							川崎							浦和			

(9月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ニュートラック福島	笠松	浦和		水沢	大井	名古屋					水沢	川崎	笠松			浦和	大井							盛岡	船橋			笠松		
オーブス磐梯	浦和			大井							川崎			大井		浦和	大井							船橋						

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会